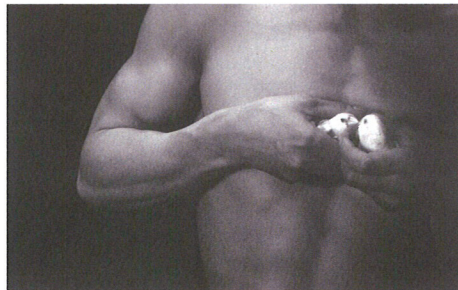


# KYOTO GRAPHIE

international  
photography festival

開催期間 04/13 — 05/06/2013

全12カ所の京都のシンボリックな会場を舞台に、約10カ国のアーティストからなる国際色豊かな写真展を同時開催  
京都グラフィー 国際写真フェスティバル、京都から世界へ — www.kyotographie.jp



Man and Woman #33 (1960) © Eikoh Hosoe

**細江英公**  
高台寺塔頭 圓徳院  
Eikoh Hosoe  
Kodaiji Tacchu Entokuin

豊臣秀吉の妻・ねね終焉の寺で、舞踏家・土方巽をモデルにした代表作『鎌鼬』を模した巨大な作品や、若き日の草間彌生のポートレートを掛け軸にした作品など、日本を代表する写真家、細江英公の集大成が和の設えによって展示される。



Nuit de Noël (1963) Courtesy MAGNIN-A © Malick Sidibé

**マリク・シディベ**  
京都文化博物館 別館  
Malick Sidibé  
The Museum of Kyoto Annex

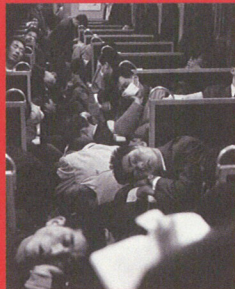
60年代のマリの若者文化を切り撮ったシディベのモノクロ作品が、アフリカン・カラー溢れる展示空間で現地のストリートサウンドと共に鮮やかに蘇る。会場には彼のスタジオも再現。ベネチア・ビエンナーレなど様々な国際展で人気の彼の作品を日本で観られるまたとない機会。



© Seiwemon Onishi

**大西清右衛門**  
大西清右衛門美術館  
Onishi Seiwemon  
Onishi Seiwemon Museum

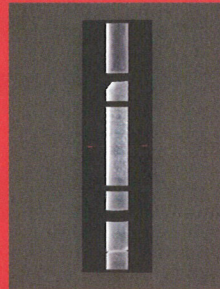
室町時代から400年以上続く千家十職の茶師、大西家十六代当主・大西清右衛門が茶の湯釜を制作する過程を自ら撮影。代々伝わる茶釜と共に、熱く燃える炎を捉えた神秘的な写真を初公開。普段は開放しない茶室などが展示会場となる。



People sleeping in a night train (1964) © Nicolas Bouvier, Musée de l'Élysée, Lausanne

**ニコラ・ブーヴィエ**  
有斐斎 弘道館  
Nicolas Bouvier  
Yuuhsai Koudoukan

世界中を旅したスイス人の紀行作家・ブーヴィエが最も長く滞在した国、日本。彼特有のまっすぐな目線と、戦後間もない日本の懐かしい原風景や、経済発展を遂げ変わりゆく姿が写真に記録されている。日本庭園が美しい敷居屋造の会場にてじっくり鑑賞できる。



© Shiro Takatani

**高谷史郎**  
西行庵  
Shiro Takatani  
Saigyō-an

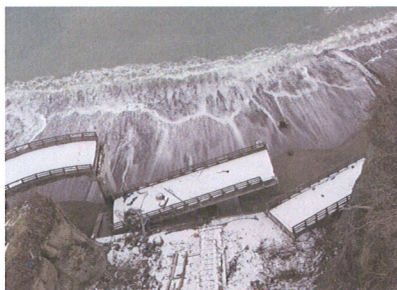
ダム・タイプを中心メンバーである高谷の映像作品『Ice Core』『Snow Crystal』が平安の歌人・西行ゆかりの茶室西行庵で展示される。雪水学者・中谷宇吉郎が墜簡した南極の水床コアの写真を使用したインスタレーションが静かに語る地球の時間と、悠久の空間がどう融合するかが見物。



Catherine Deneuve © Kate Barry

**ケイト・バリー**  
誉田屋源兵衛 黒蔵  
Kate Barry  
Kondaya Genbei Kurogura

大正期の町屋の奥に佇む洗練された蔵を舞台に、ジェーン・バーキンの長女にしてパリを中心に活躍する女流写真家・ケイトにより世界中の著名な女優達のポートレートと、南三陸の被災者の女性達を支援するドキュメンタリーを同時公開する。



© Tadashi Ono

**小野規**  
アンスティチュ・フランセ関西  
Tadashi Ono  
Institut Français Japon - Kansai

2012年のアルル国際写真フェスティバルに出展された作品を京都グラフィーで展示する交換プログラム。震災後8ヶ月経った東北を感情的ではなく、小野独自の客観的な視点で切り撮った風景写真は、地球変動という時間軸の中で出来事を静かに伝えてくれる。



© Marie Sommer, ENSP Arles

**アルル国立**  
高等写真学校の学生  
ARTZONE  
Students of ENSP Arles / ARTZONE

フランスの写真学校の名門、アルル国立高等写真学校の2012年度卒業生から選ばれた7名の作品を展示。次世代の有名写真家の候補とも言える彼らの作品は、学生ながら作家性が強い。京都造形芸術大学とのパートナーシップのスタートとして、同大学運営のギャラリーで開催。



© Christian Polak Collection

**クリスチャン・ポラク コレクション**  
虎屋京都ギャラリー  
Christian Polak Collection  
Toraya Kyoto Gallery

日仏外交史の研究者・ポラク氏のコレクションから、日本に初めて写真が伝わった幕末から明治初期にかけての貴重な作品の数々を紹介。中でも初公開の1868年当時フランスの軍服を着た幕府軍将校が写るアンブタイプ(ガラス版)の作品は一見の価値有り。



Photo by Frank Meryl

**Hasselblad Masters 2012 & エールフランス ラウンジ**  
ASPHODEL / 富美代

Hasselblad Masters 2012 & AIR FRANCE Lounge  
ASPHODEL/TOMIYO

全世界のプロフェッショナル写真家を対象にした、写真界で最も権威ある賞のひとつ、ハッセルブラッド・マスターズ・アワードの2012年受賞作品を京都初公開。今回は建築、風景、ポートレート、ファッション等11分野から11人の受賞者が選ばれた。

\*会場へは、必ず四条御手通のASPHODELからお入りください。



© NAOKI

**CHANEL NEXUS HALL presents NAOKI**  
二条城二の丸御殿台所

CHANEL NEXUS HALL presents NAOKI  
Nijo Castle Ninomaru Palace Kitchen

普段は非公開の重要文化財・二条城二の丸御殿台所で、昨年 CHANEL NEXUS HALL で好評を博した写真展『MOOD-9GIRLS』を展示。進化する日本女性の「カワイイ」を、ファッション写真家として活躍してきた NAOKI が作品化し、日本の伝統的美意識を現代に問う。

\* 展示期間は4/24-5/12のみです。